

Injury Alert (傷害速報)類似事例

スチーム式加湿器による顔面熱傷 (No.93 スチーム式加湿器による背部熱傷の類似事例 1)

事例	年齢：4歳10か月 性別：男児 体重：19kg 身長：105cm	
傷害の種類	熱傷	
原因対象物	スチーム式アロマ加湿器 (幅28cm×奥行き17cm×高さ29.7cm, 給水タンク容量2.5L)	
臨床診断名	前額部・左耳のII度熱傷 (範囲：体表の約4%)	
医療費	6,120円(当院のみ)	
発生状況	発生場所	自宅の寝室
	周囲の人・状況	両親、妹(2歳)と同居。患児の発達段階は年齢相当。傷害発生時、自宅には母親と妹と本児がいた。寝室には、本児がベッドで臥床していた。妹は起きていたが、何処にいたのか不明。
	発生年月・時刻	2019年12月X日(木) 午前7時30分
	発生時の詳しい様子と経緯	X-1日の夜に、感冒罹患中の本児のために、母親が寝室のおもちゃ箱(プラスチック製、幅50cm、奥行き30cm、高さ70cm)の上に加湿器を設置した。本児のベッド頭側に加湿器を設置した状態で、本児が就寝していた(図1、2)。X日7時30分頃、患児の悲鳴が聞こえたため、リビングにいた母がすぐに駆けつけた時には、本児は床に腹臥位で啼泣していた。加湿器はおもちゃ箱から落下して床に倒れており、患児の額の上に加湿器内の湯が直接かかったようであった。おもちゃ箱は傾いたり、位置が変わったりしていなかった。受傷直後から、アイスパックで1時間程度冷却して経過をみていたが、表皮剥離を伴ってきたので医療機関を受診した。
治療経過と予後	8時15分に来院した際のバイタルサインに異常は認めなかった。眼球熱傷・気道・口腔内熱傷を疑う所見はなく、左右の前額部ほぼ全体・左耳介にII度熱傷(範囲は手掌法で約4%)を認めた。頭皮に熱傷は認められなかった。熱傷部位に白色ワセリン塗布および創傷用吸収パッドにより被覆し、湿潤療法を行った。受診翌日の再診日、熱傷部位の深達度および範囲の拡大がないことを確認し、家族へ湿潤療法継続の指導を行い、近医皮膚科を紹介した。近医皮膚科には、約1か月間、4回程度通院して診療は終了した。	

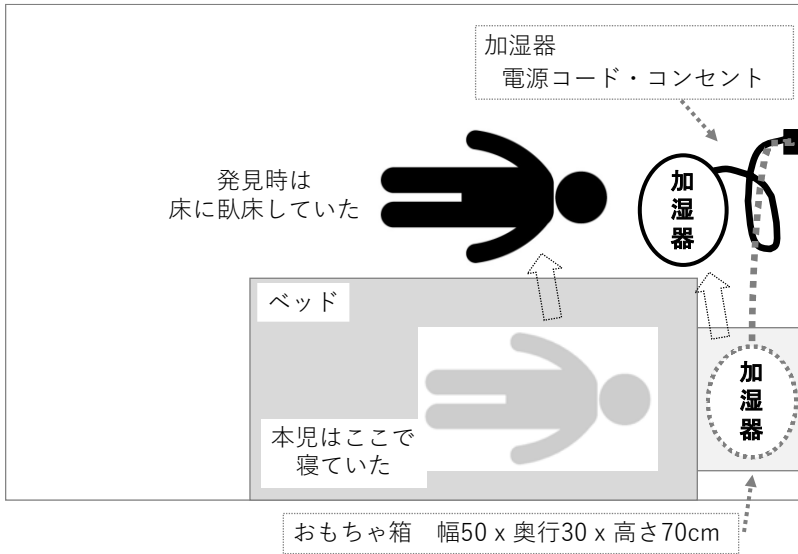


図1 受傷に気付かれた際の部屋の状況
加湿器もおもちゃ箱の上から床に落下してした。

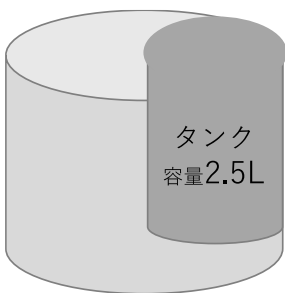


図2 加温式超音波加湿器(イラスト)
受傷時の状況では、加湿器は転倒していた。加湿器のサイズ：幅28cm, 奥行17cm, 高さ29.7cm。
タンク容量は2.5Lで、受傷時には半量程度の水量であった。